

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた平成 30 年度取組状況 (平成 31 年 3 月末見込)

平成 30 年度取組概要	平成 30 年度上半期 (4 月～9 月) の取組	下半期 (10 月～3 月) の取組
<p>1 スポーツの推進</p> <p>① 競技力向上対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年の国民体育大会や平成 33 年の「三重とこわか国体」に向けて、中学・高校の運動部やジュニアクラブ、大学運動部、企業・クラブチームの強化指定をはじめ、全国トップレベルにある成年選手を強化指定し、その強化活動を支援 ジュニア・少年選手の育成を図るとともに、三重とこわか国体後も継続して三重県の競技スポーツを担う人材育成につなげるため、優れた指導者の養成と指導体制の構築に向け「チームみえ・コーチャアカデミーセンター」の取組を開始 トップアスリートが県内に定着できるよう、競技団体と緊密に連携しながら、就職を支援する取組を加速 <p>事業費：340,000 千円</p>	<p>平成 30 年度上半期 (4 月～9 月) の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校運動部 4 校 4 部、高校運動部 30 校 68 部、ジュニアクラブ 18 クラブ、大学運動部、企業・クラブチーム 17 部を強化指定するとともに、全国・国際スポーツ大会で活躍し「チームみえ」の一員として「三重とこわか国体」での活躍が期待できるトップアスリート 6 名を強化指定し、その強化活動を支援 「チームみえ・コーチャアカデミーセンター」の取組を 4 月から開始 このうち、優れた指導者の養成のための講習などを中心とする「みえコーチャアカデミー」については、4 月以降 3 回、延べ 4 日間、計 14 コマの講習や演習を実施 また、専門スタッフを配置・派遣し指導体制の構築を図る「みえマルチサポートシステム」についても、競技・指導等の実情に応じて、6 月から順次実施 有力な大学運動部などに三重の魅力や強みを積極的に P R するなど、トップアスリートの獲得と県内定着に向け、競技団体、県体育協会とともに就職支援の取組を実施 <p>【競技力向上対策課】</p>	<p>下半期 (10 月～3 月) の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 強化指定した、中学校運動部、高校運動部、ジュニアクラブ、大学運動部、企業・クラブチーム、トップアスリートに対し、引き続きその強化活動を支援 「みえコーチャアカデミー」による優れた指導者の養成 (3 月までに 7 回、延べ 9 日間、計 24 コマの講習や演習を実施見込) や、「みえマルチサポートシステム」による指導体制の構築の取組を引き続き実施 平成 31 年 4 月採用に向け、就職支援の取組を競技団体、県体育協会とともに引き続き実施 <p>【競技力向上対策課】</p>
<p>② スポーツを通じた地域の活性化支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピック等のキャンパ地誘致の実現に向けて取組を実施 東京オリンピック・パラリンピックフラッグツア一関連事業 (歓迎イベント、市町巡回、小中学校訪問) を実施し、東京オリンピック・パラリンピックを県民の皆さんに周知、スポーツ推進の機運を醸成 スポーツによる誘客推進に関する研修会等の開催やスポーツイベントへのスポーツ応援隊の派遣を行い、市町等の取組を支援することでスポーツを通じた地域の活性化を促進 <p>事業費：6,398 千円</p>	<p>東京オリンピックの事前キャンプ誘致に向けて、各種競技団体やキーパーソンを訪問し、情報収集や P R 活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 誘致に取り組む県内市町の誘致活動を支援 カナダアーツ・インスティテュートと連携し、2019 及び東京 2020 オリンピックにおける事前キャンプに関する協定書を締結 (9 月 26 日) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツア一関連事業 (歓迎イベント) を、9 月 1 日に県総合文化センターにて開催し、フラッグ展示を同月 28 日まで県内各地で実施 フラッグツア一関連事業 (フラッグ訪問イベント、小中学校訪問イベント) を県内各地で実施 (9 月 1 日～28 日) 東京 2020 オリンピック聖火リレーの県内実施について検討するため、実行委員会を設置するとともに、第 1 回会議を開催 (9 月 6 日) 4 月～8 月にかけて、スポーツイベント 8 件・延べ 34 名の応援隊の派遣を実施 <p>【スポーツ推進課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピックの事前キャンプ誘致に向けて、情報収集や P R 活動を実施 誘致に取り組む県内市町及び関係団体の誘致活動を支援 カナダレスリング協会と事前キャンプに関する協定書を締結 (12 月 11 日) 三重県と鈴鹿市がカナダを相手国として共同で申請した交流計画がホストタウンに登録 (12 月 28 日) 三重県と津市がカナダを相手国として共同で申請した交流計画がホストタウンに登録 (2 月 28 日) 東京 2020 オリンピック聖火リレーの県内実施について、第 2 回実行委員会を開催してルートを検討を行い、通過市町を決定 (12 月 19 日) 引き続き応援隊の派遣イベント募集・派遣を行い、地域スポーツイベントの運営支援の取組を実施 <p>【スポーツ推進課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組
<p>2 障がい者スポーツの推進</p> <p>①障がい者スポーツ推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大会で活躍できる選手を発掘・育成するため、選手への練習プログラムの提供等を行うとともに、東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致に向けて、県内施設での競技団体の合宿や世界大会等の大規模大会の誘致を実施 <p>事業費：15,243千円</p>	<p>・国内外の大会をめざす身体障がい者の選手の発掘・育成に取り組み、競技指導者、理学療法士、管理栄養士、障がい者スポーツ医等が一体となり、選手へ練習プログラムを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内競技団体から強化指定を受けた選手は、強化合宿や大会への参加が必要となるため、三重県在住の強化指定選手に対して旅費を補助 ・9月12日から20日までの9日間、県営鈴鹿スポーツガーデン水泳場において英国パラスイミングチームが合宿を実施。また、合宿期間中に、三重県選手・指導者による英国パラスイミングチームの練習風景の見学や英国パラスイミングチームとの交流会を実施 <p>【障がい福祉課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大会をめざす身体障がい者の選手に引き続き練習プログラムを提供し、選手の競技力向上を図る ・三重県在住の強化指定選手に引き続き強化合宿や大会への参加のための旅費を補助 ・12月1日から2日まで、県営鈴鹿スポーツガーデンにおいて第35回日本パラ水泳選手権大会が開催され、選手・スタッフの移動等を支援 ・英国パラスイミングチームが、2019年及び2020年において、パラリンピック事前キャンプを県営鈴鹿スポーツガーデンで実施することが決定（11月12日） ・英国パラスイミングチームと「2019ジャパンパラ水泳競技大会」及び「東京2020パラリンピック競技大会」における事前キャンプ実施に係る協定を締結（2月25日） ・引き続き東京パラリンピック事前キャンプ地誘致に向けた取組を実施
<p>②早期からの一貫した教育支援体制の整備</p> <p>事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省の「学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解（心のバリアフリー）の推進事業」を活用し、障がい者スポーツの活動を通じて、障がいのある子どもと障がいのない子どもが体を動かす喜びを共有することにより、障がい者に対する理解を促進 ・県立特別支援学校教員を対象とした障がい者スポーツの実技講習会を実施 ・障がい者スポーツの普及と選手の育成を図るため、県立特別支援学校ポッチャ交流試合を実施 <p>事業費：3,432千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校教員を対象とした障がい者スポーツ実技講習会を実施（7月2日 参加者10名） ・特別支援学校と近隣の小中学校等との障がい者スポーツ（陸上競技、ポッチャ等）の活動を通じた交流を実施（事業指定校において適宜実施） <p>【特別支援教育課】</p>	<p>【障がい福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立特別支援学校におけるポッチャ交流試合を実施（12月10日 参加者8校91名） ・障がい者スポーツに係る出前授業を実施（11月27日 伊賀つばさ各園 高等部） （12月7日 玉城わかば学園 高等部） （1月11日 西日野にじ学園 高等部） ・特別支援学校と近隣の小中学校等との障がい者スポーツ（陸上競技、ポッチャ等）の活動を通じた交流を実施（事業指定校において適宜実施） ・障がい者スポーツに積極的に取り組む先進地視察を予定 <p>【特別支援教育課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月~9月)の取組	下半期(10月~3月)の取組
<p>3 文化の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国の文化芸術振興施策をふまえ、本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に向け発信するため、生誕200年を記念した「幕末維新を生き旅の巨人 松浦武四郎」展を総合博物館で開催(9月15日~11月11日)するとともに、三重ゆかりの文豪横光利一の生誕120年を記念した「川端康成と横光利一展」等を開催(10月27日~12月16日) <p>事業費：241,020千円</p>	<p>・県立文化施設等の公演や展覧会、イベント等について「beyond2020 プログラム」の認証を受けることにより、文化庁が運営する文化情報ポータルサイト(多言語)を活用して国内外へ情報を発信</p> <p>【文化振興課、県立文化施設】</p>	<p>・本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に向け発信するため、生誕200年を記念した「幕末維新を生き旅の巨人 松浦武四郎」展を総合博物館で開催(9月15日~11月11日)するとともに、三重ゆかりの文豪横光利一の生誕120年を記念した「川端康成と横光利一展」を県立美術館で開催(10月27日~12月16日)</p> <p>【総合博物館、県立美術館】</p>
<p>・「beyond2020 プログラム」の認証組織として、県内に拠点がある文化団体や企業等を対象に同プログラムの認証を行うとともに、活用促進に向けた取組を実施</p>	<p>・引き続き「beyond2020 プログラム」の認証を行うとともに、本県が認証した事業を県ホームページへ掲載することにより、県内外への情報発信を開始(5月~)</p> <p>【文化振興課】</p>	<p>・引き続き、県内市町や文化団体等に対して「beyond2020 プログラム」の仕組みを活用して情報発信することのメリット等を説明し、活用を促進</p> <p>【文化振興課】</p>
<p>4 農林水産業の振興</p> <p>① 農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力の強いラグジュアリーホテル等や富裕層をターゲットとするプロモーション活動を展開し、県産農林水産物の評価や魅力を高め、東京オリ・パラで使用される食材としての地位確保に向けた取組を実施 <p>事業費：3,858千円</p>	<p>・東京オリパラ三重県農林水産協議会平成30年度第1回全体会を開催(5月30日)</p> <p>・首都圏ホテルでの三重県フェアを開催(7月17日~9月14日)</p> <p>・三重県フェア開催に向けた首都圏ホテル等バイヤー等を三重県へ招へい(6月20日~22日など4回)</p> <p>・東京オリパラポンスターの食とスポーツの連携に係る協定を締結(7月19日)</p> <p>・東京オリパラポンスターと連携した量販店フェアを開催(7月20日~8月20日)</p> <p>・東京オリパラ三重県農林水産協議会第2回全体会を開催(9月5日)</p> <p>・フルーツ専門店でのみえ一番星プロモーションを開催(9月17日、27日)</p> <p>・フラッグツアード関連事業として実施される東京都庁内食堂のランチフェアで三重県ご当地メニューを提供(9月中の3日間)</p> <p>【フードイノベーション課】</p>	<p>・東京2020大会を契機とした三重県農林水産品販売拡大戦略を策定(10月)</p> <p>・首都圏ホテルでの三重県フェアを開催(10月~11月)</p> <p>・東京オリパラポンスターと連携した首都圏ライブレストランにおける三重県フェアを開催(12月10日~26日)</p> <p>・フルーツ専門店での伊勢茶プロモーションを開催(1月21日)</p> <p>・東京オリパラポンスターと連携した量販店フェアを開催(1月27日~2月12日)</p> <p>・東京オリパラ三重県農林水産協議会第3回全体会を開催(1月31日)</p> <p>【フードイノベーション課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組
<p>② 東京オリ・パラを契機とした県産食材販売拡大チャレンジ事業</p> <p>・食材調達を担うケータリング事業者に向けたレセプションでのPRなど、プロモーション活動を展開し、東京オリ・パラを契機とする県産農林水産物の販売拡大に向けた取組を実施</p> <p>事業費：4,142千円</p>	<p>・首都圏ホテルでの「東京2020大会を契機とした三重県産品披露レセプション・商談会(仮称)」の開催に向けた準備を実施(4月～9月)</p> <p>【フードイノベーション課】</p>	<p>・東京2020大会を契機とした県産農林水産品の販売拡大を図るため「極上の饗宴・三重県レセプション in 帝国ホテル東京」を開催(10月9日)</p> <p>【フードイノベーション課】</p>
<p>③ 「広がれGAPの輪」推進支援事業</p> <p>・GAPの取組拡大を図るため、指導員の育成や認証取得支援、農業大学校での学習環境の整備等に取り組みとともに、有機JAS認定取得の支援などを実施</p> <p>事業費：21,903千円</p>	<p>・GAP実践を推進・支援する指導員を育成するため、「JGAP指導員基礎研修」を開催(6月28日、29日参加者28名)</p> <p>・GAP認証取得を指導・支援するリーダー指導員を育成するため、「団体認証研修」を開催(7月24日、25日参加者13名)</p> <p>・GAPの実践や認証取得を推進するため、生産者等を対象とした研修会などを開催(15回、参加者261名)</p> <p>・地域GAP推進チームを核としたGAP認証取得や実践に向けた指導・支援(84回)</p> <p>・有機JAS認証取得を推進するため、「有機JAS制度入門研修」を開催(8月6日、参加者39名)</p> <p>・三重テラスでの「三重県GAP&AEL食材フェア」を開催(9月1日～31日)</p> <p>【農産園芸課】</p>	<p>・有機JAS認証取得を推進するため、「有機JAS生産行程管理責任者育成講習会」を開催(11月6日、7日)</p> <p>・GAP実践を推進・支援する指導員を育成するため、「JGAP指導員基礎研修」を開催(11月14日、15日)</p> <p>・GAP認証取得を指導・支援するリーダー指導員を育成するため、「HACCPセミナー」(11月21日、22日)、「団体認証研修」(11月29日、30日)を開催</p> <p>・首都圏飲食店において三重県産GAP認証・農福連携野菜等を使用したメニューを提供する三重県フェアを開催(2月～3月)</p> <p>・オテル・ドゥ・ミクニにおいて、GAP取得野菜等を使用した三重県フェアを開催(3月5日～4月2日)</p> <p>【農産園芸課】</p>
<p>・県立農業高等学校5校で、各学校の特色に合わせた品種でGAP認証の取得を実施</p>	<p>・県立明野高校でグローバルGAPを認証取得</p> <p>・各学校では、農林水産部のGAP指導員から模擬審査やアドバイスを受けるなど、認証取得に必要な準備を実施</p> <p>【高校教育課】</p>	<p>・県立四日市農芸高校でグローバルGAPとアジアGAP、久居農林高校でアジアGAP、相可高校でアジアGAPとJGAP(家畜・畜産物)、明野高校でアジアGAPとJGAP(家畜・畜産物)、伊賀白鳳高校でアジアGAPを認証取得</p> <p>・GAPに取り組み福島県と農産物交換販売を実施(11月)</p> <p>・GAPの認証取得を推進する福島県の農業高校生との交流を実施(12月)</p> <p>・平成30年度県立高等学校GAP推進報告会を実施(1月)</p> <p>・JGAP(家畜・畜産物)を認証取得した相可高校と明野高校は、家畜保健衛生所及び中央農業改良普及センターから助言・指導を受けるなど、認証取得に必要な準備を実施</p> <p>【高校教育課】</p>

<p>平成30年度取組概要</p> <p>④ 東京オリ・パラに向けた三重の農産物販売強化促進事業</p> <p>・東京オリ・パラにおける多様な需要に対して、米・野菜・花き花木等の県産農産物を供給するため、首都圏の食品関連事業者、緑化事業者など、実需者をターゲットとするプロモーションや保存性の高い加工野菜の商品化などの取組を実施</p> <p>事業費：4,382千円</p>	<p>平成30年度上半期（4月～9月）の取組</p> <p>・都内の米穀販売店と「プレミアムな『結びの神』」のプロモーションをさらに進めるため、取扱量を前年より拡大することとで合意。また、都内有名百貨店での中元商品に採用全農三重県本部とGAP認証を取得した団体が生産したなばなの冷凍商品の流通について協議</p> <p>【農産園芸課】</p>	<p>下半期（10月～3月）の取組</p> <p>・首都圏での知名度向上のため、都内の米穀販売店を通じた百貨店等での販売量の拡大や宅配食材事業者等での新規取り扱いなど、新たな販路拡大の取組を実施</p> <p>・なばなを含め東京オリ・パラで提供をめざす夏野菜以外の野菜について、冷凍試験を行い、栄養価や加工適性などを試験し、アピールポイントを整理したうえでケーターリング事業者等への提案を実施</p> <p>・花き花木については、関東東海花の展覧会（2月1日～3日）への出展等で首都圏の緑化事業者等へのプロモーションを実施</p> <p>【農産園芸課】</p>
<p>⑤ 東京オリ・パラへの畜産物供給体制構築事業</p> <p>・東京オリ・パラを契機とした様々な需要に対して、県産畜産物を供給するため、高品質ブランド和牛の生産体制の構築や、エコフイード等の利活用によるECC畜産物供給体制の構築等の取組を実施</p> <p>事業費：16,333千円</p>	<p>・高品質ブランド和牛の供給拡大に向けて、受精卵供給用に畜産研究所に導入した繁殖雌牛及びと畜卵巣から受精卵を作成し乳牛へ移植。プレミアム繁殖雌牛と牛候補牛を出生し繁殖農家への譲渡に向けた育成。交雑種等の活用による和牛2卵移植技術の開発を実施。また、体外受精卵の保存期間を延長する基礎技術の開発を実施</p> <p>・畜産農家、民間事業者、行政等が参画し、設立したエコフイード等利活用研究会や三重県食品産業振興会等を通じたエコフイードの実態調査を実施。また、昨年度実施した酒粕の肥育豚給与試験結果を元に養豚農家とのマッチングを実施するとともに、新たな食品残渣による肥育豚・採卵鶏へのエコフイード給与試験に着手</p> <p>【畜産課】</p>	<p>・畜産研究所で出生したプレミアム繁殖雌牛（4頭）の繁殖農家への譲渡に向けた育成。と畜由来受精卵の乳牛等への移植や交雑種等の活用による和牛2卵移植技術の開発を継続。また、体外受精卵の保存期間を延長する基礎技術の開発を継続</p> <p>・エコフイード等実態調査結果を基に、畜産農家と食品系廃棄物排出事業者等との新たなマッチング調整を開始</p> <p>・エコフイード等利活用研究会において、食品残渣等の未利用資源の利活用に係る検討や現地勉強会を実施</p> <p>・蔵元と養豚農家のマッチングによる新たな豚肉の販売開始</p> <p>・肥育豚・採卵鶏へのエコフイード給与試験を継続して実施</p> <p>【畜産課】</p>
<p>⑥ JGAP家畜・畜産物等の導入加速化推進事業</p> <p>・JGAP家畜・畜産物の認証取得を加速するため、指導人材の育成等による普及・指導体制の強化などの取組を実施</p> <p>事業費：4,304千円</p>	<p>・JGAP家畜・畜産物等の認証制度の啓発普及に努めるとともに、JGAP指導員基礎研修を開催（7月26日～27日、参加者29名）</p> <p>・地域機関に設置した「地域GAP推進チーム」が中心となり、JGAP家畜・畜産物等の認証取得に取り組む生産者の掘り起しと、JGAP認証取得を目指す農場に対して取り組み状況に応じた指導・助言を継続して実施</p> <p>・三重県で初のJGAP家畜・畜産物の認証審査が7月20日、21日に2農場で実施され、8月6日に認証取得</p> <p>【畜産課】</p>	<p>・引き続き、農場HACCPの認証取得農場あるいは取組農場に対し、「JGAP家畜・畜産物」の認証取得に向けた重点的な指導を実施するとともに、これからGAPに取り組む生産者に対し、「GAP取得チャレンジシステム」を支援ツールとして、GAPの実践の普及を実施</p> <p>・リーダー指導員研修が1月17日、18日、2月27日、28日の2回開催され、5名が受講</p> <p>【畜産課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月~9月)の取組	下半期(10月~3月)の取組
<p>⑦東京オリ・パラを契機とした県産材の販売力強化促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリ・パラを契機とした県産材の販 売力強化促進事業 東京オリ・パラ・パラリンピック・パラリンピック関連施設等への県産森林認証材等の採用やオリ・パラ後の販路拡大につなげるため、首都圏でのプロモーションや他地域と差別化したブランド戦略を推進するための取組を実施 事業費：2,801千円 	<p>東京オリ・パラ・パラリンピック・パラリンピック関連施設等への県産森林認証材等の採用や販路拡大につなげるためのブランド化に向け、FSC森林認証のグループ化やブランド標準の作成に着手</p> <p>【森林・林業経営課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の漁業団体を対象に、MSC認証にかかる説明会を開催 県内の養殖業者(1社)を対象に、AEL認証にかかる説明会、相談会を開催 県内の漁業者(1社)を対象に、MEL認証にかかる研修会を開催 <p>【水産資源・経営課】</p>	<p>帝国ホテルで実施された三重県レセプションにおいて、FSC認証及び日本農業遺産認定を取得している尾鷲ヒノキをPRするとともに、前年度に開発した木製品等を活用し、首都圏の高級ホテルと商談を実施(10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏において木材流通事業者及び内装材メーカー、家具メーカー、区役所を訪問し、県産森林認証材等のPRを実施(11月) 東京ビックサイトで開催された「モクコレ2018」に三重県ブースを出展し、県産森林認証材等をPR(1月) 尾鷲市のイベントにおいて、日本農業遺産に認定された「尾鷲ヒノキ林業」の魅力を紹介するためのセミナーを開催(2月) 東京ビックサイトで開催される「建築・建材展」に三重県ブースを出展し、県産森林認証材等をPR(3月) 尾鷲ヒノキのブランド化に向け、FSCのグループ認証取得(3月) 尾鷲ヒノキのブランド標準の策定(3月) <p>【森林・林業経営課】</p>
<p>⑧東京オリ・パラに向けたみえの水産物販売力強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリ・パラ・パラリンピック・パラリンピックの食材調達基準に適合した水産物の供給をめざし、持続可能性を確保した漁業の認証取得に向けた支援を行うとともに、食材調達基準を満たす県産水産物の販売力強化等に向けた取組を実施 事業費：3,514千円 <p>5 三重県企業の参画に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO-HACCP研修会等(食品産業振興会による取組) HACCP義務化や東京オリ・パラ・パラリンピックをはじめ、海外グローバル化への対応等を見据えた研修会を実施 事業費：- 千円 	<p>東京オリ・パラを契機とした食品関連事業者における販路拡大等対策の一環として、食品衛生管理を行う上で基礎となる「食品衛生7S研修会(入門・基礎編)※」を実施(7月25、26日、参加者：食品製造事業者等59名)</p> <p>※食の安全・安心を守るための必須条件ともいわれる7S(整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌・膜・清潔)に関する基本的事項を習得するための研修</p> <p>【中小企業・サービス産業振興課】</p>	<p>県内の水産業関係者等を対象に、MEL・AEL認証にかかる研修会を開催(2月14日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏の飲食店にて流通業界のバイヤー等を招いた県産水産物のPRイベントを実施(10月30日) 豊洲市場にて、仲卸業者を対象とした県産水産物の展示商談会を開催(3月5日) <p>【水産資源・経営課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリ・パラを契機とした食品関連事業者における販路拡大等対策の一環として、次の研修会を開催 食品の衛生管理手法であるHACCPなどに関する基礎的な知識を習得するため「ISO-HACCP研修会」(9月26日、10月4日、10月11日、10月17日、10月24日、10月31日、11月7日、参加者：17社、33名) 食品の衛生管理技術(微生物検査)に関する知識を習得するため「微生物検査実習会」(11月7日、9日、参加者：13社、14名) 賞味期限及び消費期限等を適切に設定できるよう「官能検査実習会」(基礎編1月17日、参加者：8社、10名)(発展編2月22日、参加者：5社、7名) 「食品衛生7S研修会(発展編)」(1月22日、23日、参加者：14社、33名) <p>【中小企業・サービス産業振興課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組
<p>6 訪日外国人旅行者の誘致</p> <p>①海外プロモーション推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の認知度を高め、外国人旅行者の更なる誘客を図るため、重点国・地域での旅行博覧会出展、海外旅行会社へのセールス・商談会の開催、また県内においては旅行雑誌・TV等海外メディアを招請する取組を実施 事業費：11,263千円 	<p>・旅行博等</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾(4月20日～23日)、香港(6月14日～17日)、マレーシア(9月7日～9日)、ベトナム(7月9日～17日)、カナダ(6月17日、18日) ・商談会 台湾(6月) 東京 VISIT JAPAN トラベルマート(9月20日～22日) ・セールス 台湾、香港、タイ、ベトナム、フランス、イギリス ・メディア・旅行会社等の取材・視察の招請・受入 23件 台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、フランス、ドイツ、アメリカ、カナダ、オーストラリア等 <p>【海外誘客課】</p>	<p>・旅行博等</p> <ul style="list-style-type: none"> タイ(11月1日～4日)、タイ(2月11日～15日)、フランス(3月14日～17日) ・商談会 東南アジアランドオペレーター商談会(京都10月4日) VISIT JAPAN トラベルマート ASEAN/INDIA(神戸11月27日、28日) シンガポール MICE セミナー・商談会(10月14日、15日) ・セールス タイ、フランス、シンガポール、台湾 ・メディア・旅行会社等の取材・視察の招請・受入 31件 台湾、韓国、タイ、シンガポール、フランス、イギリス、カナダ、ロシア等 <p>【海外誘客課】</p>
<p>②海外誘客推進プロジェクト事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの拡大を図るため、欧米・アジアからの富裕層等の誘客に取り組むとともに、個人の外国人旅行者(FIT)の増加をふまえたSNS等による情報発信を実施 事業費：37,419千円 	<p>・増加している個人旅行者(FIT)向けの情報発信ツールとして、Facebook及びインスタグラムを活用した情報発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> Facebook(7言語8種) 週1回以上投稿 フォローワー 約119,600人(8月30日現在) Instagram(3言語) 週1回以上投稿 フォローワー 約10,800人(8月30日現在) #VisitMie投稿数 約8,800件 <p>・富裕層誘客に向け、フランス及び台湾においてレップを活用したメディアや旅行会社への商品造成等の働き掛け、セミナー等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾教育旅行の受入2校68人(新北市立三重高級商工職業学校36人、国立高雄餐旅大学付属餐旅高級中学校32人)(5月) 受け入れ推進に向けた商談会参加・セールスコール、台湾国際教育旅行連盟への訪問等を実施 <p>【海外誘客課】</p>	<p>・増加している個人旅行者(FIT)向けの情報発信ツールとしてFacebook及びインスタグラムを活用した情報発信を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> Facebook(7言語8種) 週1回以上投稿 フォローワー 129,220人(3月3日現在) Instagram(3言語) 週1回以上投稿 フォローワー 15,160人(3月3日現在) #VisitMie投稿数 25,418件(3月3日現在) <p>・富裕層誘客に向けフランス及び台湾においてレップを活用したメディアや旅行会社への商品造成等の働き掛け、セミナー等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾教育旅行の受入2校61人(台中市立豊原商業高級中学34人(1月)、台北市立内湖高級工業職業学校27人(2月)) 受け入れ推進に向けた商談会参加・セールスコール、視察団受入、県内高校との交流促進等を実施 <p>【海外誘客課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組
<p>③「#VisitMie」キャンペーン事業</p> <p>・伊勢志摩サミットの効果を持続させるとともに、日本を訪れる外国人旅行者の旅行ニーズの多様化や地域の特色を生かした体験型観光への需要の高まりに対応するため、SNSを活用した投稿参加型キャンペーンの実施や外国人向け体験プログラム等の流通促進の取組を実施</p> <p>事業費：11,520千円</p>	<p>・「#VisitMie」キャンペーン インスタグラムを活用して、旅行者による投稿参加型キャンペーンを実施し、当県関連の投稿を促すことでさらなる情報量の拡大及びフォローを獲得する取組を展開 第1回 9月26日～12月3日</p> <p>・個人旅行者（FIT）の誘客を促進し県内外国人旅行者の宿泊増に向け、体験プログラムの流通促進の取組を実施。県内の体験プログラムをPRする紙媒体ツール（パンフレットやチラシ等）を作成し、京都と大阪の観光案内所（関西ツーリストインフォメーションセンター）に配架 観光案内所スタッフへの研修と販売促進活動を実施（9月） 【海外誘客課】</p>	<p>・「#VisitMie」キャンペーン インスタグラムを活用して、旅行者による投稿参加型キャンペーンを実施し、当県関連の投稿を促すことでさらなる情報量の拡大及びフォローを獲得する取組を展開 第2回 12月4日～3月3日</p> <p>・引き続き外国人向け体験プログラムの流通促進の取組を実施 OTAやSNS等のウェブを活用した県内の体験プログラムのPRを実施 観光案内所のスタッフによる対面でのPRを実施 【海外誘客課】</p>
<p>④ゴルフツーリズムの確立による新規需要開拓事業</p> <p>・日本初となる「IAGTO第一回日本ゴルフツーリズムコンベンション（三重県開催）」の好機を生かし、富裕層やスポーツに関心の高い欧米からの観光客誘致を図るため、ゴルフをテーマにした誘客プロモーションを展開</p> <p>事業費：20,680千円</p>	<p>・三重県のゴルフツーリズムを海外に発信するため、海外のゴルフツアー商談会に出展 フィリピンAGTC出展（4月22日～24日） アメリカNAC出展（6月24日～27日） ・海外からのゴルフ客の受入に関する知識や蓄積を図るため、MOUを締結したパタヤと交流事業を実施 フレンドリーゴルフツアー実施（5月7日～11日） キャディ選手権に参加（9月15日～18日） 【海外誘客課】</p>	<p>・国際ゴルフツアーオペレーター協会が主催する、日本初の「IAGTO第1回日本ゴルフツーリズムコンベンション」を開催（9月28日～10月3日） 三重県内のゴルフ場及び周辺地域の観光資源のPRを通じて情報発信 ・MOUを締結したパタヤとの交流事業 パタヤでのフレンドリーゴルフツアーへ送客（10月23日～28日） ・中国及び欧米豪のバイヤーを対象としたファームトリップを実施（12月、2月、3月） ・韓国でのゴルフツーリズムセミナー開催（1月） 【海外誘客課】</p>
<p>⑤バリアフリー観光推進事業</p> <p>・パースナルバリアフリー基準に基づき、宿泊施設等に対する調査・アドバイス及び県内の観光ボランティアガイドに対する実践研修を実施</p> <p>事業費：2,108千円</p>	<p>・パースナルバリアフリー基準に基づき、宿泊施設等に対する調査・アドバイスを実施 【観光政策課】</p>	<p>・障がい者、高齢者、外国人への対応のため、パースナルバリアフリー基準に基づき、観光ボランティアガイドに対する実践研修を開催（4回） ・パースナルバリアフリー基準に基づき、宿泊施設等に対する調査・アドバイスを実施予定（年間10回） 【観光政策課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月~9月)の取組	下半期(10月~3月)の取組
<p>⑥クルーズ船寄港に向けた受入体制の充実・強化事業</p> <p>観光の産業化を進めるとともに、クルーズ船寄港時における受入体制の充実・強化に向けた取組を実施</p> <p>事業費：2,234千円</p>	<p>港での受入対応のさらなる充実と乗船客の県内各地への誘客にオール三重で取り組む官民一体の広域組織として「三重県クルーズ振興連携協議会」を設立(4月27日)</p> <p>外国人乗船客が利用しやすい寄港地づくりに向け、「おもてなし部会」、「誘客促進部会」で具体策を検討(5月24日、8月7日)</p> <p>英国船籍「ダイヤモンド・プリンセス」の四日市寄港時における外国人乗船客専用案内窓口の設置。その際、通訳ボランティア(20名程度)が協力(6月24日、9月16日) 【観光魅力創造課】</p>	<p>三重県クルーズ振興連携協議会として、①外国人乗船客が利用しやすい寄港地づくり、②乗船客の安定的な交通手段の確保、③オール三重でクルーズ船寄港を盛り上げる体制の構築、④多様なオプショナルツアー造成に向けた提案、⑤地域独自の体験プログラムの企画・実施等について具体的な取組を本会議2回、おもてなし部会5回、誘客促進部会2回開催</p> <p>・「ダイヤモンド・プリンセス」が四日市港に寄港(10月7日、11月4日)、鳥羽港に初寄港(10月9日)、「にっぽん丸」が松阪港(12月17日)、尾鷲港(3月8日)に初寄港し、地域と連携した受入対応を実施</p> <p>・30年度は計24回クルーズ船が寄港し、約24,500人(日本人18,300人、外国人6,200人)が県内各地を観光</p> <p>【観光魅力創造課】</p> <p>・「三重とこわか国体・三重とこわか大会開催決定記念みえのスポーツフォーラム2018」において実施した県民運動(とこわか運動)開始宣言を契機として、両大会の県民運動(とこわか運動)を開始</p> <p>・県民の皆さんの積極的かつ自発的な「とこわか運動」が一つでも多く行われるよう、市町や競技団体、学校や企業、NPO、スポーツチームなど、あらゆる主体に幅広く取組を働きかけ</p> <p>・12月13日に開催された(公財)日本スポーツ協会の国民体育大会委員会において、三重とこわか国体の正式競技(37競技)、特別競技(1競技)と公開競技(5競技)の競技別会期が決定 【総務企画課、競技・式典課】</p>
<p>7 東京オリ・パラの気運醸成</p> <p>①第76回国民体育大会開催準備事業</p> <p>三重とこわか国体、三重とこわか大会の開催決定イベントを、東京オリンピック・パラリンピックラッパック歓迎イベントと同時に開催し、より大規模なイベントとすることで、国体・大会の周知を実施</p> <p>事業費：1,500千円</p>	<p>7月18日に開催された(公財)日本スポーツ協会の理事会において、第76回国民体育大会の開催地を三重県とすること、会期を2021年9月25日(土)から10月5日(火)までの11日間とすることが決定</p> <p>・三重とこわか国体の開催決定に伴い、第21回全国障害者スポーツ大会(三重とこわか大会)の開催及び会期についても決定(会期は、2021年10月23日(土)から10月25日(月)までの3日間)</p> <p>・9月1日に「三重とこわか国体・三重とこわか大会開催決定記念みえのスポーツフォーラム2018」を「東京2020オリンピック・パラリンピックラッパックツアーフック歓迎イベント」と同時に開催。当該イベントにおいては、ロンドンオリンピック銅メダリストであり、平成21年から平成23年にかけて、国体の成年女子背泳ぎ100mを3連覇した寺川綾さんの記念講演を行うとともに、三重とこわか国体・三重とこわか大会のイメージソングやとこわかダンスの披露、県民運動(とこわか運動)開始宣言を行うことで、県民の皆さんの両大会への参加意識の向上と開催に向けた機運醸成を図った 【総務企画課】</p>	<p>・「三重とこわか国体・三重とこわか大会開催決定記念みえのスポーツフォーラム2018」において実施した県民運動(とこわか運動)を開始</p> <p>・県民の皆さんの積極的かつ自発的な「とこわか運動」が一つでも多く行われるよう、市町や競技団体、学校や企業、NPO、スポーツチームなど、あらゆる主体に幅広く取組を働きかけ</p> <p>・12月13日に開催された(公財)日本スポーツ協会の国民体育大会委員会において、三重とこわか国体の正式競技(37競技)、特別競技(1競技)と公開競技(5競技)の競技別会期が決定 【総務企画課、競技・式典課】</p>

<p>平成30年度取組概要</p> <p>②「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参加及び取組の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参加及び継続的な取組となるよう市町の小型電子機器等の回収体制構築を支援 <p>事業費：251千円</p>	<p>平成30年度上半期（4月～9月）の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に県内全市町が参加（8月） ・夏のエコフェア2018（7月21日、22日）に四日市市と連携して、使用済小型電子機器の回収イベントを実施 <p>【廃棄物・リサイクル課】</p>	<p>下半期（10月～3月）の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みえ環境フェア2018」（12月16日）に津市と連携して、使用済小型電子機器の回収イベントを実施 ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」終了後も、使用済小型電子機器の回収が継続して実施されるよう、市町等の回収体制の構築体制を支援 <p>【廃棄物・リサイクル課】</p>
<p>③「東京オリ・パラ」をキーワードにした広報の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三重で活躍する～人が輝くスポーツの推進～」を、今年度の全庁をあげて積極的に情報発信に取り組む「重点広報テーマ」としており、スポーツに関する県事業の広報を行う際に「東京オリ・パラ」のキーワードを活用した広報を実施 <p>事業費： - 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京オリ・パラ」につながるスポーツイベントとして、平成30年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を、知事定例会見、県政だより、T V、ラジオ、新聞広告、県ホームページ、SNS等の広報媒体で重点的に広報を展開 ・聖火リレー三重県実行委員会設置、フラッグツアーフラッグ歓迎イベント等の、東京2020オリンピック・パラリンピックの関連イベントについて、知事定例会見で発表するなど積極的に情報発信 <p>【広聴広報課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダレスリングチームの東京オリンピック事前キャンペーン実施決定など、東京2020オリンピック・パラリンピックの関連情報について、ぶら下がり会見で発表するなど積極的に情報発信 <p>【広聴広報課】</p>
<p>④太平洋沿岸自転車道の整備・PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ気運の高まりとともに、自転車活用推進計画のモデルルートに位置付けられた太平洋沿岸自転車道について、県管理道路における自転車通行空間の整備等を実施するとともに、県内の自転車イベントを通じて太平洋沿岸自転車道の取組のPRを実施 <p>事業費：30,000千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太平洋沿岸自転車道（三重県区間）のPRパンフレットを作成 <p>【道路企画課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太平洋沿岸自転車道の県管理道路において、統一的な仕様を考慮した整備方針を作成し、それに基づく工事（路面標示）を実施 ・県内の自転車イベントを通じて、太平洋沿岸自転車道をイベント参加者に対してPRを実施 ・国、沿線県市で構成する太平洋沿岸自転車道推進協議会に参加し、官民が連携した取組を検討 <p>【道路企画課】 【道路管理課】 【道路企画課】 【道路管理課】</p>
<p>⑤伝統工芸品等の公式ライセンス商品化説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に誇る地域の技術・文化・伝統を反映した高い品質の商品を国内外の人々に届けるために、伝統工芸品等の東京2020公式ライセンス商品化についての説明会を開催 <p>事業費： - 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内伝統産業・地場産事業者などに対し東京2020ライセンスニング事務局伝統工芸品室との共催により説明会を開催（1月23日） ・31事業者が参加（後日の資料送付も含む） ・現在7事業者が商品化申請の手続中（2月末時点） <p>【三重県営業本部担当課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内伝統産業・地場産事業者などに対し東京2020ライセンスニング事務局伝統工芸品室との共催により説明会を開催（1月23日） ・31事業者が参加（後日の資料送付も含む） ・現在7事業者が商品化申請の手続中（2月末時点） <p>【三重県営業本部担当課】</p>

<p>平成30年度取組概要</p>	<p>平成30年度上半期（4月～9月）の取組</p>	<p>下半期（10月～3月）の取組</p>
<p>8 国への提言・提案、要望活動</p> <p>・平成31年度予算に向け国への提言・提案、要望活動を実施</p> <p>事業費： - 千円</p>	<p>5月15日、16日に国への提言・提案活動を実施</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした交流促進や、スポーツを通じた地域活性化を担う人材の育成など、地方自治体のさまざまな取組を推進するため、「スポーツによる地域活性化交付金（仮称）」を創設するなど、地方自治体の政策実現に向けた支援について、国への提言活動を実施</p> <p>【総務企画課ほか】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした国際水準GAPの認証取得促進など、グローバル化に対応する強い農林業の構築に向けた支援の充実・強化について、国への提言活動を実施</p> <p>【農産園芸課ほか】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックにおける真珠の利用促進について、国への提言活動を実施 【水産資源・経営課】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックに向けた地方における訪日外国人旅行者誘致の取組への支援の充実について、国への提言活動を実施</p> <p>【観光政策課ほか】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化芸術施策の強化について、国への提言活動を実施</p> <p>【文化振興課】</p> <p>・首都圏において発信される関連情報を収集</p> <p>【東京事務所】</p>	<p>11月6日、7日に国への要望活動を実施</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした交流促進や、スポーツを通じた地域活性化を担う人材の育成など、地方自治体のさまざまな取組を推進するため、「スポーツによる地域活性化交付金（仮称）」を創設するなど、地方自治体の政策実現に向けた支援について、国への要望活動を実施</p> <p>【総務企画課ほか】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした国際水準GAPの認証取得促進など、グローバル化に対応する強い農林水産業の構築に向けた支援の充実・強化について、国への要望活動を実施</p> <p>【農産園芸課ほか】</p> <p>12月12日に首相官邸への要望活動を実施</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックにおいて、日本の文化資産「忍者」の活用や、情報発信への協力について、日本忍者協議会と連携して首相官邸への要望活動を実施</p> <p>【観光魅力創造課】</p>
<p>9 その他</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックに関する情報の収集を的確に行うとともに、首都圏における三重県の情報発信がよりスムーズに、より効果があげられるよう、適切なサポートを実施</p> <p>事業費： - 千円</p>	<p>・関連情報の収集を継続するとともに、大会を契機に実施する三重県の情報発信について、担当部局と連携しながら、首都圏での活動をサポート</p> <p>【東京事務所】</p>	<p>・関連情報の収集を継続するとともに、大会を契機に実施する三重県の情報発信について、担当部局と連携しながら、首都圏での活動をサポート</p> <p>【東京事務所】</p>